

平成 22 年 5 月 10 日

各位

会社名 株式会社 新生銀行
 代表者名 代表執行役社長 八城 政基
 (コード番号 : 8303 東証第一部)

平成 22 年 3 月期通期業績予想および普通株式配当予想の修正に関するお知らせ
 ～損失処理は大幅に進捗、自己資本比率は前期水準を維持～

当行は、平成 21 年 5 月 13 日の決算発表時に公表いたしました平成 22 年 3 月期通期の連結・単体業績予想および平成 21 年 11 月 11 日の中間決算発表時に公表いたしました普通株式配当予想を下記の通り修正いたします。

平成22年3月期、当行は、お客さまのニーズに徹底的に応える商品・サービスを提供するという、基本に立ち返り、国内を中心とした法人および個人のお客さまに対する中核業務に注力してまいりました。平成22年3月期第3四半期までは黒字基調でありましたが、平成22年2月3日の第3四半期決算発表時に述べたとおり、資産の精査を実施し、主に以下に記載の処理や手当てなどを行った結果、平成22年3月期通期の連結・単体業績予想を下記のとおり修正いたします。当行は、これらの処理や手当てにより、平成23年3月期以降、収益体質は大きく改善し、業績の安定性は高まるものと考えております。

- 当行コンシューマーファイナンス子会社、株式会社アプラスフィナンシャル、シンキ株式会社における過払い利息返還に対する引当金の追加繰入並びにのれんおよび無形資産の減損処理
- 国内不動産投資や国内不動産ノンリコースファイナンスに係る評価損・減損や引当金の大幅な積み増し
- その他法人・商品部門におけるリスク資産に係る保守的な手当て

平成22年3月末時点の連結自己資本比率は8.35%、Tier 1比率は6.35%と、当期の赤字決算にもかかわらず前期比ほぼ横ばいないしは若干改善した水準となる見込みです。これらは、リスクアセットの約20%の削減や、優先出資証券、劣後債等の買戻しが資本の質の改善に寄与したものです。また、平成22年3月期通期の普通株式配当予想については、通期業績予想の修正を踏まえ、誠に遺憾ながら、下記のとおり無配に修正させていただきます。なお、当行子会社が発行する優先出資証券に対する配当金につきましては、予定どおり平成22年7月にお支払いする予定です。

平成22年5月14日に予定している平成22年3月期の決算発表時には、当期業績の詳細についてご報告させていただきます。

1. 当期の業績予想数値の修正(平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日)

【連結】	(単位:億円)				(単位:億円)
	経常収益	経常利益 (△は経常損失)	当期純利益 (△は当期純損失)	1株当たり当期純利益 (△は1株当たり 当期純損失)	キャッシュベース 当期純利益 (△は当期純損失)*
前回発表見通し (平成21年5月13日公表)(A)	6,200	200	100	5円09銭	280
今回見通し (B)	5,663	△726	△1,401	△71円36銭	△537
増減額 (B-A)	△537	△926	△1,501	△76円45銭	△817
増減率 (%)	△8.7%	-	-	-	-
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	6,016	△1,633	△1,430	△72円85銭	△970

*純利益(または純損失)からののれんに係る償却・減損額及び企業結合に伴う無形固定資産償却・減損とそれに伴う繰延税金負債取崩を除いたもの
 (単位:億円)

【単体】	当期純利益 (△は当期純損失)
前回発表見通し (平成21年5月13日公表) (A)	100
今回見通し (B)	△476
増減額 (B-A)	△576
増減率 (%)	-
(ご参考)前期実績(平成21年3月期)	△1,570

2. 当期の普通株式配当予想の修正(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

基準日	普通株式1株当たり配当金	
	期末	年間
前回予想配当(平成21年11月11日公表)	1円00銭	1円00銭
今回修正予想配当	0円00銭	0円00銭
(ご参考)前期実績(平成21年3月期)	0円00銭	0円00銭

以上